

新庁舎・(仮称)新福祉会館建設に係る市民説明会(第1回)	日時	平成30年11月7日(水) 18:00~19:49	場所	公民館貫井南分館 学習室AB
説明者	西岡市長、天野企画財政部長、中谷福祉保健部長、高橋庁舎建設等担当課長、今井公共施設マネジメント推進担当課長、前島福祉会館等担当課長			
事務局	企画政策課 渡辺主査、岡崎主任、小林主任 地域福祉課 山口主査 (受託者)株式会社大建設 北原氏			
参加者数	24人(うち市議会議員7人)			
次第	1 開会 2 新庁舎建設基本計画について 3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について 4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について 5 建設計画(施設配置)について 6 「これまで」と「これから」について 7 質疑応答 8 閉会			
(進行:渡辺主査)				
<p>1 開会 西岡市長による開会挨拶を行った後、説明員の紹介を行った。</p> <p>2 新庁舎建設基本計画について 3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について 4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について 5 建設計画(施設配置)について 6 「これまで」と「これから」について 高橋庁舎建設等担当課長が2、5について、前島福祉会館等担当課長が3、4について説明を行った後、西岡市長が6について説明を行った。</p> <p>7 質疑応答</p> <p>【市民A】 説明の内容が分からない。分かりやすく説明すべきである。 → 以後、丁寧に説明を行いたい。なお、専門的な用語があることについては、御理解願いたい。</p> <p>【市民B】 基本設計に入る目の大事な説明会だ。なぜ本日の配布資料を市民全員に配らないのか。市報等で情報提供・共有が必要。その上で説明会に臨むことが有益と考える。 → 基本設計に向け、これまでの経過、設計に入る基本的な姿勢を説明し、市民の皆様から御意見をいただきたい。なお、本日の配布資料は市ホームページで公開済である。</p> <p>【市民B】 市は、C-3に優位性があると考えて説明会を行っているのか。 → 施設配置は、市民参加も行いながら具体的な設計を行いたい。</p> <p>【市民B】 C-3は複合施設なのか。(仮称)新福祉会館を先行竣工ということは、壁で仕切ったものに通路を通せば複合施設となるのか。折衷案で、中途半端で単体+単体に感じる。市民にどう説明をしようと思ったのか。 → 庁舎と(仮称)新福祉会館は用途上切り分けて使うこともできる。外観上、機能上の一体性を確保することで、一棟の建築物として整備することが可能と考えている。通常時、災害時等の機能連携について、基本設計の中で詳細に整理していきたい。(仮称)新福祉会館の先行竣工を行う場合においても安全上問題がない形で区画を分け、仮使用認定制度を活用し、複合施設として整備したい。 市議会から清掃関連施設の暫定移設を行わないこと、(仮称)新福祉会館を制震・耐震構造とすること、既存樹木を保全すること、(仮称)新福祉会館を先行竣工する4つの提言を受け、追加調査を行った。Cre-2とC-3の大きな違いは、清掃関連施設を暫定移設するかどうか、(仮称)新福祉会館を先行竣工するかどうかの2点である。耐震システムは、両施設とも防災の拠点となることから、免震構造が望ましいと考えているが、基本設計の中で検討していく。</p> <p>【市民C】 半年前「Cre-2に最も優位性がある」が、「C-3」の経緯が分からない。 → Cre-2は、早期竣工を優先して選択した案であり、市民や市議会から多様な視点から御意見をいただき、合意形成や透明性の確保等から発注方式の見直しをするなど、より良い案をつくっていく上で追加調査が必要と判断した。より良い案をつくるために合意形成を図っていきたい。</p>				

- 【市民D】 清掃関連施設の暫定移設を行わないメリットがよく分からない。免震費用、既存施設の解体費用をC-3に足すと、Cre-2との差は4千万円くらいしかない。また、公用車の駐車場60台分を確保するためのコストは入っていない。清掃関連施設の再整備は計画どおりに進む前提だが、まだ二枚橋周辺の住民合意などもできておらず、長引くと駐車場代もかさむ。C-3案のメリットは、(仮称)新福祉社会館が8か月早く竣工するだけと考える。将来施設建設可能面積もCre-2は5,000㎡に対し、C-3は3,680㎡で、清掃関連施設を暫定移設しないメリットが分からない。
- 公用車駐車場について確定的な策ではないが、高架下の借用についてJ Rと協議を始めた段階である。C-3を採用するに当たっては、多岐にわたる調整項目が今後出てくるが、駐車場のコスト試算にまでは至っていない。
- 【市民D】 高架下は無料で借りられるのか。
- 相談の段階であり、答えられない。
清掃関連施設は再整備基本計画を定めており、計画どおりできるよう精一杯努力する。特に中間処理場の老朽化対策は極めて重要であり、計画的に進めたい。
- 【市民E】 二枚橋周辺は東町で色々な話をされていると思うが、中間処理場の建て替えに伴って機能を足していくこととなると思うが、間違いないか。
- 二枚橋焼却場跡地の南側一帯へ現在の中間処理場の機能を移設し、平成33年度中に稼働する。もちろん近隣住民を含めて丁寧な対応が必要と考える。その後中間処理場の土地を改変し、庁舎建設予定地で稼働している空き缶・ペットボトル処理機能を中間処理場へ平成36年度末までに移設する。
- 【市民E】 貫井北町や貫井南町北部の住民に対し、上記清掃関連施設の再整備について内容を説明したことはあるか。
- これまで市民説明会を開催している。また、周辺住民の方と協議会を設立し議論を積み重ねている。現在は、御要望を伺う会を継続的に開催しており、これまで2回開催している。今後も2回開催の予定である。
- 【市民E】 清掃関連施設の再整備内容について、町会役員のみならず一般の市民へ説明していることについて聞いたことがない。そのような中で清掃関連施設の再整備がうまくいくとは思えない。その場合、C-3だと駐車場の整備ができない。Cre-2の方が駐車場も確保されている。一見3億円削減されるように見えるが、駐輪場もほとんどないような(仮称)新福祉社会館が竣工するということがならないか。清掃関連施設、新庁舎、(仮称)新福祉社会館という3つの重要課題が複雑に絡んでおり、清掃関連施設の取組が信用・納得できない。中間処理場も東町と同様に、市民の中に入り、広報しないと進まないと思う。
- 貴重な御意見ありがとうございます。
- 【市民B】 清掃関連施設を暫定移設するか検討し、Cre-2が最も優位性が高いと結論が出たのではないのか。また、複合化することによって市民にとって必要な機能・公共空間ができるということがCre-2の一番の柱ではないのか。仮に、Cre-2が100%実現可能とすると、C-3は20%~30%の実現可能性と考える。市長は、設計者に対しC-3を基本に設計するよう発注するのか。それとも「Cre-2とC-3の両案を基に練り上げてください」と発注するのか。今日は判断材料として市民に意見を聴いているのか。私は、Cre-2の方が優位性が高く、コスト比較もC-3にメリットがあるとは思えない。清掃関連施設が予定どおり再整備できるかも不安である。C-3では(仮称)新福祉社会館は8か月先行竣工するが、庁舎は5か月遅れることとなる。福祉社会館先行竣工の意味がどれだけあるのか。複合化のメリットも薄まる。
- 清掃関連施設の暫定移設は行わない、複合施設として整備することでスケールメリットを追求し施設規模の縮減を目指すという考えである。
- 【市民B】 Cre-2は採用しないということか。最大の優位性があるものを捨てるのか。
- 清掃関連施設の暫定移設は行わない。市民のためになる庁舎をつくり上げることが重要と考えている。コストも重要な視点ではあるが、完成を目指す過程として、何に優位性を置くか考えると(仮称)新福祉社会館の先行竣工という意見が大変強いと感じている。
- 【市民F】 既存の清掃関連施設は全て移設されるのか。リサイクル事業所もなくなるのか。
- リサイクル事業所は今年度末で廃止する。粗大ごみの保管庫を二枚橋焼却場跡地へ置く予定のため、その中でどのような事業展開ができるかを検討する。
- 【市民F】 リユース品の関連施設を二枚橋へ移転しないということか。
- 具体的にどのような事業が展開できるのかは今後検討する。
- 【市民C】 先程市長が「建設コストだけではない」と言ったが、清掃関連施設の暫定移設のコストがもったいないという点から新たな案が生まれてきたと思うが、Cre-2とC-3のコスト面での大きな違いは、免震構造を耐震構造とすることによって1億3千万円安くしているようにしか見えない。
- C-3において免震構造を採用した場合、1億3千万円の削減効果は消えることになる。何を重点に置くかは総合的な判断となる。
- 【市民D】 (仮称)新福祉社会館を先行竣工する根拠は何か。現状で、集会施設機能以外は補完されていると

考える。どういう声を拾って（仮称）新福祉会館を先行竣工することとなったのか。

→ 統計的・数的に示すことはできないが、福祉会館機能は多くの利用者が見込まれ、会議室機能も有しており、私のもとには医療関係者、旧福祉会館利用者等の多くの市民及び市議会議員から早期建設を望む声がある。

【市民G】 90億円を超える事業だが、財源の裏付けはどうなっているのか？

→ 庁舎建設基金約27億円及び地域福祉基金約6億6千万円、第二庁舎の返還金約5億円、地方債を活用する。基金の積み増しもさらに行っていききたい。

起債残高はピーク時から比べて約95億円減少しており、新庁舎・（仮称）新福祉会館建設事業によって大きな影響がないようコントロールできると考えている。本日の資料にはないが10年間の長期財政見通しを示しており、ホームページ等で御確認いただきたい。

概要は、Cre-2の財源計画（案）を「小金井市新庁舎等建設計画調査業務【概要版】」に示しているので、参考としてご覧いただきたい。

【市民A】 当初、平成33年度竣工と言っていたものが2年延びている。2年延びた後は、3年、4年、5年とどんどん延びていく。市長の強いリーダーシップで早期に建設してほしい。

→ 決断すべきはこれまでも決断してきた。90億円を超える大事業のため、市民・市議会との合意形成も重要である。基本設計に入るための重要な説明会だと考えている。引き続き努力してまいりたい。

【市民B】 C-3でいくと説明されたということによいか。複合化のメリットを最大に活かす案はCre-2だと思っている。C-3は複合化のメリット、敷地の有効な利用を損なう可能性が高い案だと考えている。この説明会でもC-3を推す意見は1つもない。

→ C-3は4項目を反映した調査結果であり、（仮称）新福祉会館は耐震構造としたが、これで設計に入る訳ではなく、説明P63の「清掃関連施設の暫定移設は行わない」、「複合施設として整備することでスケールメリットを追求し、施設規模の縮減を目指す」、「（仮称）新福祉会館機能を早期に回復させることを優先する」「免震構造を採用する場合に生じる地下空間は駐車場として整備するなど有効活用を行う」「平常時の緑地・広場確保とともに、災害時における駐車場、広場の活用をイメージし、バランスのとれた空地活用を目指す」ということを基本とし、より良い設計を目指す。

【市民B】 C-3を基本に考えているのか。そのことを市民に理解してほしいということではないのか。

→ 上記の5つの視点を基本としたい。そのことについて市民の皆様の意見をいただき、最終的な判断の参考としたい。その上で、基本設計に着手していききたい。

【市民H】 先程の財源の説明は、Cre-2に関するものか、それともC-3に関するものか。

→ 基金に関する説明はCre-2とC-3の両方に共通する説明であり、長期財政見通しはCre-2に基づき策定したもの。ただし、C-3でも大きな差はないので、どちらの案でも成立するものと考えている。

基金に関しては、更なる積み増しをしていききたい。それにより、起債額を抑えていききたい。

【市民F】 C-3は既存の清掃関連施設を稼動しながら建設するのか。

→ そのとおり。

【市民F】 C-3の場合、平成30年度末のリサイクル事業所の閉鎖は拙速と考える。

→ 御意見として承る。リサイクルの考え方は重要であるが、運営の形態、経営状況、雇用先の確保等について、シルバー人材センターと協議を行い、平成30年度末閉鎖ということについて、整理を行ってきた経過がある。平成30年度末のリサイクル事業所の閉鎖については、御理解願いたい。

— 以上で、閉会 —

新庁舎・(仮称) 新福社会館建設に係る市民説明会における
意見シート

平成30年11月7日 公民館貫井南分館

<p>○ 建設費、坪当たり 155 万円は高すぎる。建設費高騰のピークも過ぎた時期からの建設なのだから、120～130 万円程度に抑えるべき</p> <p>○ 免震で地下をこれだけの面積掘り、C-3 案の方が建設コストが低いというのは本当？</p>
<p>○ 本事業は小金井市にとって数十年に一度の大きな事業だと思います。市長公約の下、市執行部にてこと細かに検討し、方向性を出し、市議会の意見を踏まえ再度是正方向性を示した経緯がよく理解できました。市民一人一人の意見を全て取り込むことは不可能かと思いますが、適格な判断の下、本事業の完遂に向けて進めていってほしいと思います。</p> <p>○ 市民説明会に来られた方々の意識レベルは個人個人の差が激しく、私には説明内容は理解できましたが、できない人には無理な説明の仕方ではあったと思います。</p>
<p>○ 清掃関連施設を暫定移設しない案としてC-2を考慮しないのはなぜですか？「C-3より前にC-2でも良いのでは？」と思いましたが</p>
<p>○ 新庁舎、新福社会館が建設されても市民の集会所や会議室が足りない。現在、第二庁舎の前の開発事業の中に市民のホールを設置させることはできないか。また、検討したことはないのか（国分寺は新駅前のビルに集会施設を確保している。）。</p>
<p>○ C-3案で清掃関連施設の移設を行わないことのメリットがよく分からない。コスト的にはほとんど変わらないのでは。福社会館に免震をつけるなら、△131,451千円、既存施設解体費△100,000千円、この2つはなくなるとすると4千円くらいしか変わらないのでは。メリットは8か月早く竣工するだけでは。</p> <p>○ 駐車場（公用車用）の賃借料はどのように考えられているか。どのくらいのコストか。清掃関連施設が計画どおりに移設できなかった場合は、不便もしくはコストがかさむ状態が続いてしまうのではないか。</p>

新庁舎・(仮称)新福祉会館建設に係る市民説明会(第2回)	日時	平成30年11月9日(金) 19:00~20:31	場所	公民館緑分館 学習室AB
説明者	西岡市長、天野企画財政部長、中谷福祉保健部長、高橋庁舎建設等担当課長、今井公共施設マネジメント推進担当課長、前島福祉会館等担当課長			
事務局	企画政策課 渡辺主査、岡崎主任、小林主任 地域福祉課 山口主査 (受託者)株式会社大建設 北原氏			
参加者数	29人(うち市議会議員5人)			
次第	1 開会 2 新庁舎建設基本計画について 3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について 4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について 5 建設計画(施設配置)について 6 「これまで」と「これから」について 7 質疑応答 8 閉会			
(進行:渡辺主査)				
1 開会 西岡市長による開会挨拶を行った後、説明員の紹介を行った。				
2 新庁舎建設基本計画について				
3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について				
4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について				
5 建設計画(施設配置)について				
6 「これまで」と「これから」について 高橋庁舎建設等担当課長が2、5について、前島福祉会館等担当課長が3、4について説明を行った後、西岡市長が6について説明を行った。				
7 質疑応答				
【市民A】 基本設計者は、どのような事業者を選定していくのか。大建設の現在の立ち位置はどうなっているのか。 → 大建設は平成29年度の新庁舎等建設計画調査の受託者であり、この度の追加調査の受託者である。基本設計者の選定に当たっては、公募型プロポーザル選考により選考委員会を設置し、公開プレゼンテーション等を行う予定である。				
【市民A】 基本設計者を選ぶ基準は。 → 募集要領等を作成し、公募により募集する。				
【市民A】 どのような設計者を募集するかということについて、公開されるのか。 → 選考基準を定め、公開する。条件は、現在検討中である。				
【市民A】 (仮称)新福祉会館建設基本計画【概要版】に基本設計者が選定されていない中で空間イメージが記載されている意図は。 → 平成29年度に(仮称)新福祉会館建設基本計画市民検討委員会において議論する中で、イメージがないと議論が進まないため、作成したものである。あくまでイメージであり、基本設計段階において設計者からアイデアをもらっていきたい。				
【市民B】 C-3は広場が1,000㎡しかなく、(仮称)新福祉会館が新庁舎の裏に建っていて日当たりが悪そうである。C-2は広場が多く取れており、市民が集う場所になると考える。 → 平成29年度に新庁舎等建設計画調査を実施したのは、既存の清掃関連施設がある中で新庁舎・(仮称)新福祉会館の建設が可能かどうか、可能な場合どのような施設配置ができるのかを法的に検証した上で、竣工時期、事業費等を示したものの。その後、事業手法の見直しを行った後に、清掃関連施設の暫定移設を行わず、(仮称)新福祉会館の先行竣工などを追加で調査した結果がC-3。C-3の配置のまま進めるのではなく、前述の条件を加えた場合においても成立する見込みがあるので、清掃関連施設を暫定移設しない、という考えについて意見を伺いたい。C-2も清掃関連施設を暫定移設することなく、複合で建設する案のため、基本設計段階においては、検討になり得ると考えているし、C-2、C-3以外にも様々な施設配置の可能性があり、どのような配置が望ましいかは基本設計段階において検討していくこととなる。				

広場という視点を大切にしてほしいという意見は承った。新庁舎・(仮称)新福祉会館は多くの市民が利用し、多くの方が仕事をする場でもある。利用する市民の目線は大事だと思っており、基本設計段階において、更に検討していきたい。

【市民C】 事業費で見ると、C-2とC-3で大きな差はない。(仮称)新福祉会館を南側に配置した方が広場も広く取れ、日当たりもよいので、C-2の方がよい。Cre-2で決まったというわけではないということでしょうか。

→ Cre-2は清掃関連施設を暫定移設する案で、清掃関連施設を暫定的に移設しないのがC-3案で、暫定移設をしないことについて意見を伺うものである。C-2は新庁舎と(仮称)新福祉会館を横に並べて配置しており、Cre-2のように縦に配置した方が機能上の連携において優位性があると考えており、同様に縦に配置した場合において、清掃関連施設の暫定移設を行わない案について検討を行ったものがC-3である。

施設配置は、基本設計段階において市民参加も行いながら検討していきたい。

【市民D】 小金井に住んで10年になるものの旧福祉会館は利用したことがないが、(仮称)新福祉会館を1日でも早く開館してほしいという声が届いている。どれだけの市民が求めているかは分からないが、市民の切実な願いである。

→ 旧福祉会館は長い間、福祉の拠点として年間約9万5千人が利用していた施設で、機能を早く回復してほしいという声は市にも多く寄せられており、新庁舎・(仮称)新福祉会館機能をしっかり展開できるようにしていきたい。平成28年3月をもって耐震上の課題から閉館したところであり、社会福祉協議会は暫定的に事務所を借りて業務を行っている。市域の西側の保健センター、子ども家庭支援センター及びファミリー・サポート・センター機能等も加わることとなる。

【市民E】 (仮称)新福祉会館の面積は、旧福祉会館と比べて多くなるのか、少なくなるのか。

→ 旧福祉会館の面積は約2,760㎡であるが、他に様々な機能が加わることとなる。相対的に見れば面積は増える。(仮称)新福祉会館に公民館機能は入っていないものの、多目的室・マルチスペース機能は増えている。具体的には基本設計段階において決定していくこととなる。

【市民F】 新庁舎は現状よりも駅から遠くなると思うが、公共交通手段等の考えは。

→ 中央線が高架化されて9年、ココバスの運行開始から15年経つことから、ココバスの総合的な見直しを行う。自転車由来庁される方が多くなることが予想されるため、駐輪場を400台確保する見込みである。敷地内ロータリーを設置することで、福祉車両利用者にも配慮した設計が必要と考えており、基本設計段階で設計者のアイデアももらいながら検討を進めていく。民間バス路線は、これからの課題と考えている。

【市民G】 施設配置を初めて見たが、当初は横並びだった施設配置が検討を重ねるに連れて縦並びへと変遷している理由は何か。

→ 4つの配置は、段階的に検討を進めたわけではなく、並行して検討していったものである。

4つの配置は、関係法令上いずれも成立し得る案である。JRの高架橋は建築物に当たり、日影等の制限が生じる。また、西側も道路があり、制限が生じることから、施設配置は南東側に寄っている傾向がある。

【市民A】 基本設計者の選定はコンペ方式により行うのか、それとも実績等を配慮して行うのか。

→ 公募型プロポーザル方式を予定しているが、実績や事業規模等を考慮した方がよいのか、アイデアを重要視した方がよいのか等、選考委員会に学識経験者を加え、評価項目も併せた検討を行っていく予定である。

【市民A】 以前どこかの大学と連携して事業を進めようとして頓挫したことがあったと思うが、その方が選考委員に加わるのか。

→ 大学との共同研究により設計を行おうとしたところ、建築士法に抵触することから事業を取り止めた経過がある。選考委員会は設計者の選考であり、設計を行うのではなく、募集要領や評価項目に関わっていただくものである。

【市民A】 選考委員会の委員はどのような方を選ぶのか。

→ まだ決定していないが、建築学に精通した方、福祉に精通した方、防災に精通した方等様々な視点から知見をいただく形で選考していきたい。

【市民A】 選考委員会の委員は公開されるのか。

→ 公表する。

【市民H】 施設配置において、周囲への日影を考慮し南東部へ寄せたとの説明があったが、施設の日当たりを最優先に考えて施設配置を考えるべき。(仮称)新福祉会館も南側へ向いた方が広場も広く取れるし、事業費的にもC-2が最も安い。Cre-2が最も早く施設を使えることとなるのか。

→ (仮称)新福祉会館を南側へ向けるという点については、市議会へ陳情書も提出されており、意見については認識しているところである。C-2の場合、6階建てとなり、1フロアに多くの面積を取ることができないのがデメリットである。関係法令を含めて施設配置を検討しており、いただいた意見を基に、基本設計段階において皆様が快適にお使いいただけるよう検討していきたい。

(仮称)新福祉会館を最も早く供用開始できる案はC-3である。一方、新庁舎はCre-2と比較し

て5か月遅れることとなる。これは、工事際に面積を確保しづらいことから施工性が劣ることによるものである。

【市民Ⅰ】 複合化という考えの基にまとめられたと思うが、C-3は新庁舎と（仮称）新福祉会館の間に隙間が生じている。これは、近くにあるけど単体ということか。複合化の考え方に変化があったのか。複合化には利点があるものの必ずしも建物が1つである必要はなく、敷地内に異なる機能があり市民が利用しやすければ、スペースの共用等は不要と考える。どうしても建物をつなげる必要があれば通路でつなげばよいのではないか。C-3は立体駐車場がなくなっており、他案と同様に立体駐車場をつくれればより広くの広場空間を確保できると考える。建物出入口は、福祉車両により来られる方もいるので、建物の近くに駐車スペースが必要と考える。これは自転車も同様の考えである。実際に使ってみると細かい点がいくつも出てくる。

→ 複合化には建物面積の縮減、コスト削減等一定のメリットがあると考えている。福祉会館へ来る方々は、福祉の申請を併せてする方も多くおり、1つの建物に新庁舎と（仮称）新福祉会館があればこれまで以上に利便性が高まる。今後、数十年使い続ける施設であり、施設の配置、連携について、来庁者はじめその場で働く方々の目線を含めて基本設計段階においてより良いものを検討していきたい。また、複合施設として整備することでスケールメリットを追求し施設規模の縮減を目指すという考えである。基本設計段階において上部構造も含めて構造計算を行った上で判断を行うが、免震構造を採用することで地下空間を有効に使う地下の利用を考えている。立体駐車場は、広場の在り様含め、基本設計段階において検討していきたい。

C-3は、この施設配置では（仮称）新福祉会館を耐震・制震構造、新庁舎を免震構造としてシミュレートを行っていることから、エキスパンションジョイントで結合することを想定している。一体の構造とすることも今後設計段階においてあり得る。市民サービスの提供に当たっての実際の使い勝手等を踏まえ、設計段階において検討したい。

— 以上で、閉会 —

新庁舎・(仮称)新福祉会館建設に係る市民説明会における
意見シート

平成30年11月9日 公民館緑分館

<p>○ 広場2, 000㎡の確保を是非</p> <p>○ 福祉会館を最優先で</p>
<p>○ 福祉会館の日当たりが良いところに、庁舎、子どもの施設、障害者の施設があるのですから、もちろん庁舎の日当たりも大切ですが</p>
<p>○ 新福祉会館の竣工を前倒しにする見直しに賛成します。できるだけ早い竣工を強く希望します。</p> <p>○ P34の中間処理場のプラスチック、ペットボトル、空き缶、びん処理施設を平成36年度末までに整備完了となっていますが、現在のシルバー人材センターの利用地の整備はあくまで新福祉会館の竣工後、移転完了後としていただきたい。シルバー人材センターは、新福祉会館の竣工・移転完了までは現在地で執務できるよう特にご配慮願います。中間処理場の整備と新庁舎・新福祉会館の建設スケジュールは一体のものとしてコントロールしていただきたい。</p>
<p>○ 市長はじめ市職員の方々にこうした市庁舎等の建設計画についてご説明いただき誠にありがとうございます。小金井市に住んで20年余りですが、市長から市政の問題について話を聞いたのは今回が初めてですが、とてもいい機会で、今後も議員さんたちだけでなく「市長」も市民の話を聞く機会をつくっていただければと思います。また、今回の説明会ですが、30数年にわたって市庁舎建設を続ける市政に「ピリオドを打つ」の決意で「スピーディー」に様々な市民はじめ専門家にも意見を聞き進めてほしいと思います。そのためには「市民」が市庁舎・福祉会館建設を待望するような声が出るよう、例としては「防災に強い街づくり」の先頭に立つ市政・新庁舎を作るというインパクトの強いコンセプトのある「スローガン」をつくり進めてほしい。</p> <p>なお、市長選が来年ありますが、市長が変わったら駄目にならないよう頑張ってください。</p> <p>本日は良かったです。</p>
<p>○ 市内で何度も開催してくださるのはありがたいですが、ネット中継して下さるともっと助かります。子どもがいる場合、なかなか参加できません。パワポで説明する部分だけでも録画配信してほしいです。</p> <p>○ 現在、蛇の目跡地を園庭のない保育園がお散歩場所として使っています。この代替地についても工事に入る前に用意することを忘れずにしていただきたいです。</p>
<p>○ コスト縮減のためには従来方式よりDBが有効ではないでしょうか。</p>
<p>○ 基本設計者の選定を公開方式にしてほしい。また、基本設計者の選定する有識者も公開してほしい。</p>

新庁舎・(仮称)新福祉会館建設に係る市民説明会(第3回)	日時	平成30年11月10日(土) 15:00~17:03	場所	桜町上水会館 集会室AB
説明者	西岡市長、天野企画財政部長、中谷福祉保健部長、高橋庁舎建設等担当課長、今井公共施設マネジメント推進担当課長、前島福祉会館等担当課長			
事務局	企画政策課 渡辺主査、岡崎主任、小林主任 地域福祉課 山口主査 (受託者)株式会社大建設 北原氏			
参加者数	30人(うち市議会議員3人)			
次第	1 開会 2 新庁舎建設基本計画について 3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について 4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について 5 建設計画(施設配置)について 6 「これまで」と「これから」について 7 質疑応答 8 閉会			
(進行:渡辺主査)				
1 開会 西岡市長による開会挨拶を行った後、説明員の紹介を行った。				
2 新庁舎建設基本計画について				
3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について				
4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について				
5 建設計画(施設配置)について				
6 「これまで」と「これから」について 高橋庁舎建設等担当課長が2、5について、前島福祉会館等担当課長が3、4について説明を行った後、西岡市長が6について説明を行った。				
7 質疑応答				
【市民A】 C-3が(仮称)新福祉会館も早く建つし、清掃関連施設を暫定移設しなくて済むので、一番よい案だと思う。市は、C-3を最優先で進めるということでよいか。 → これまでの経過では4つの施設配置案を示し、Cre-2に最も優位性があると考えてきたが、本日は、追加調査において清掃関連施設を暫定移設せずに成立するC-3を示した。この施設配置のまま建設するわけではないが、清掃関連施設を暫定移設しないと考えている。それに対する意見を伺いたい。 Cre-2は既存の清掃関連施設を暫定的に移設し、リースにより施設を設置し、費用として新庁舎等竣工までで約1億6千万円要する。市議会からは短い期間の間に施設を作って壊すことの可否やリース料等について意見をいただいた。一方、暫定移設を行うことで工事の施工性を高める等それぞれに様々なメリット・デメリットがある。基本設計に入る基本的な考えとして、スライドのP63。C-3は、(仮称)新福祉会館に免震構造を採用しない調査結果を示しているが、基本設計段階において上部構造も含めて構造計算を行った上で判断を行うこととなるが、C-3においても両施設とも免震構造を採用することが望ましいと考えている。				
【市民A】 C-3に大賛成である。				
【市民B】 C-3の場合、(仮称)新福祉会館が先行竣工することとなるが、新庁舎建設工事中で危険はないのか。災害等起きた場合、重機が入っていると思うが、100%安全なのか。動線上避難できるのか。 → (仮称)新福祉会館竣工後、新庁舎建設段階においては、中央線高架下を使用できるようJRと協議中であり、西側と北側の動線を確保したい考えで、工事車両は南西側から出入りする予定であり、(仮称)新福祉会館利用者の動線とは重ならない。安全に配慮して進めたい。				
【市民C(第1回市民Bと同一人物)】 複合化で進めていくことは決定したと認識している。C-3は、複合化案ではない。単体のものを繋げたに過ぎない。接合部分はどうなるのか。複合化のメリットがよく分からず、1フロアを広くできるという設計の自由度がないのではないのか。既存の清掃関連施設を暫定移設させることは普通に考えれば無駄に感じるが、それをしないとまともな複合施設はできない。C-3でも(仮称)新福祉会館を免震とすると、コストメリットはなくなり、				

最終的に清掃関連施設を敷地外移設するための費用も含まれていない。また、第二庁舎の移転も遅れることによる賃借料も生じ、全てを足すと C-3 の方が安くなるか疑問。さらには60台分の駐車場も敷地外に確保が必要であり、その費用も計上されていない。ランニングコストも含めて計算すると C-3 の方が高い。清掃関連施設の再整備も計画どおり進むのか疑問である。小金井市民の誰もが清掃関連施設の再整備が順調に進むとは思っていない。Cre-2 として進めてほしい。11月5日の全員協議会の様子を見ても C-3 に賛成する議員は1人もいなかった。議員からの意見を聴いて市長が C-3 をつくったのに、どうして議員はそれに賛成する意見も出さないのか。

→ 複合施設として整備することでスケールメリットを追求し施設規模の縮減を目指すという考えは何度も説明している。庁内で検討し、(仮称)新福祉会館の市民検討委員会でも様々な議論をいただき、市域の西側で事業を展開していた保健センター、子ども家庭支援センター及びファミリー・サポート・センター機能等も加えて市域の中央で進めていくこととした。東町や梶野町地域の方々からは、小さな子を抱えて雨の日、雪の日に通うのは大変という意見をいただいていた。新庁舎・(仮称)新福祉会館機能を同じ敷地内にあることでこれまで以上に利便性が高まるし、サービスの質を高めつつ、また相互の情報共有を図りながら事業を展開していくことが数十年使用する施設として重要であり、市民の方々といいものをつくっていききたい。複合施設の方が利用する市民の方々にとって利便性が高く、建築の仕方は設計者の技術をいただきながら詳細を検討したい。また、耐震構造の在り様も重要な視点と考える。清掃関連施設については、中間処理場機能をまず二枚橋焼却場跡地へ移設し、その後庁舎建設予定地の機能を中間処理場へ移設する。中間処理場の老朽化は顕著であり、再整備計画はしっかり進めていく。Cre-2 においても遅れた場合は、清掃関連施設は残ることとなる。清掃関連施設の再整備は市に強く求められているものと認識している。

【市民C (第1回市民Bと同一人物)】 C-3 が複合施設案とは思えない。2つの建物を渡り廊下でつないだ程度で複合施設と考えているのか。

→ 基本設計に入る前であり断定的な考えではないが、学校でも校舎を増築している事例は多々ある。また、病院等でも2段階、3段階に分けて工事を行っている事例もある。工事は同時に始まり、(仮称)新福祉会館が先に竣工し、開業する予定である。これは利用者等からの声を反映するものである。本町暫定庁舎跡地に建設する案もあり、当該案では平成31年度竣工を見込んでいたが、新庁舎と(仮称)新福祉会館を市域の中央で同時にサービスを展開した方が、長い目で見たときに市民の利便性が高まると判断し、市民検討委員会の方々にも同様の決定をいただき、今日を迎えている。遅れてしまったことは事実であり、(仮称)新福祉会館の先行竣工は市として大事な考えとして基本設計を進めていきたい。

【市民D (第1回市民Aと同一人物)】 免震とはどういうものか。また、Cre-2 の「C」、「re」とはどういう意味か。

→ 免震は、建物の下にゴム等を用いて、地震時の揺れを抑えるものであり、震災後も直ちに活動を再開できる点にメリットがある。耐震や制震は、建物が耐えても仕器が倒れたり、落下する懸念がある。建物の性質、高さ等によっても変わってくるため、基本設計段階において検討の上、判断したい。「C」は複合として便宜的に設けた記号であり、「re」は「rebuild」からとったものである。

【市民E】 市債の発行残高は平成29年度末で約240億であり、公共施設の再整備で35年間で約1,500億円必要と試算されている。そのような中で、この事業を進めて大丈夫か。市が Cre-2 を示したところで、市議会からは代替案を出してこない。市が C-3 を示したらまた、市議会は同じように批判するだけである。前市長の段階から新庁舎は懸案事項であるが、他にもやるべきことはたくさんある。財源がない中で新庁舎・(仮称)新福祉会館をはじめ、他の公共施設も含め、どのように進めていくのか。

→ どの施設配置案でも新庁舎・(仮称)新福祉会館建設には、約90億円が生じ、コスト削減の視点は欠かすことができない。また、市議会からは起債比率が高いとの指摘を受けている。厳しい財政状況の中、今後の社会保障、市民サービスの維持・向上をしながら、公共施設の再編に向き合うのは難しい舵取りとなるが、行財政改革等、また、基金の積増しを行い、起債額を下げている。また、公共施設等を全て更新する場合、総務省の試算方法によると35年間で約1,500億円要するが、長寿命化、統合、民間活力の活用、資産の有効活用等を行いながら問題に向き合っていく考えである。その中で、新庁舎・(仮称)新福祉会館を優先すると決断し、公債費の傾向を見ながら取り組んでいる。

起債残高はピーク時から比べて約95億円減少しており、新庁舎・(仮称)新福祉会館建設事業によって大きな影響がないようコントロールできると考えている。10年間の長期財政見通しを示しており、ホームページ等で御確認いただきたい。新庁舎建設は市民の皆様とつくっていくものであり、皆様のためのものである。今後ともたくさんの意見をいただきながら、基本設計を進めていきたい。

【市民E】 今回 C-3 を示したところで、市議会議員はまた否定する。なぜ市議会議員は代替案を示さないのか。

→ 市議会からは付帯決議をいただいた上で、予算を議決いただいた。新庁舎・(仮称)新福祉会館を庁舎建設予定地に建てることは市議会にも理解いただいていると考える。しかし、建て方、施設配置、コスト等に様々な意見がある。また、(仮称)新福祉会館建設にも議員間討議を行い、5つの意見をもらった。これは市議会の重い意思と考える。市民・市議会との合意形成を行いながら進めていくことが重要と考える。

【市民F】 今後どのようなスケジュールで基本設計に入っていくのか。

→ Cre-2の施設配置に4つの条件を付しても成立する見通しとなるので、市民説明会を行っている。この後、基本設計に入っていきたい。

【市民G】 現状の新庁舎の面積はどの程度か。また、それぞれの案で市民1人当たりの負担はどの程度か。今後の人口推計と将来の市民1人当たりの負担はどの程度か。

→ 本庁舎約2,800㎡、西庁舎約500㎡、本町暫定庁舎約500㎡、第二庁舎約6,000㎡、他に災害対策用資機材置場、文書倉庫合わせて約10,300㎡となる。

平成72年までの人口ビジョンを示しており、人口10万人を下回る予想となっているが、人口減少を抑える政策を行っている。市民1人当たりの資料は持ち合わせていない。

【市民C(第1回市民Bと同一人物)】 Cre-2に最も優位性があると4月の市報に示されていて、その後この説明会を受け、C-3を進めたい意向と受け取っているが、次の市報への掲載はいつ頃予定しているのか。基本設計を行う前の市の考えに対するパブリックコメント等、市民への説明はどのように考えているのか。

→ 本格的な事業進捗のためには基本設計が重要と考えており、適時適切な時期に市報等にてお知らせしていきたい。平成30年度内に基本設計者の選考を行いたいと考えており、市報やホームページでお知らせをしていきたい。また、平成31年3月頃予定で基本設計者選定の公開プレゼンテーション、平成31年度中の市報特集号の作成、市民説明会等を行う予定

基本設計(案)のパブリックコメントは行う予定で、受託者からも市民参加手法について提案をもらう予定である。

【市民D(第1回市民Aと同一人物)】 前回の説明会の中継が市ホームページにあったが消えている。また、市長は「揺るぎない」、「不退転」等の言葉を使うのがよいと考える。

→ 市で中継は行っていない。第1回目の説明会でJ:COMの取材が入っており、その放送は行われていた事を言われているのではないかと。

【市民G】 資料で示されているパースは何時頃の様子か。(仮称)新福祉会館はなぜ日影に配置されているのか。B-2、C-2の方が日当たりがよいのでは。市民1人当たりの費用負担は、新庁舎74億円を人口12万人で割ると約6万円となる。身の丈に合った施設とする必要がある。市長室の前には緑の庭園があるようなことを聞いた。

→ パースは夏の昼頃を想定。清掃関連施設を暫定移設せずに複合で建設していくが、C-2、C-3と配置を決めて発注するのではない。JRの高架橋は建築物に当たり、日影等の制限が生じる。また、西側も道路があり、制限が生じることから、施設配置は南東側に寄っている傾向がある。その中でも新庁舎と(仮称)新福祉会館の連携を考えた時に、例えば6畳の部屋と10畳の部屋があった場合に、細長い面で6畳と10畳が横に並ぶよりは、6畳と10畳を縦につなげた方が使い勝手がよいと考える。このことからCre-2の施設配置が優れていると考えたが、清掃関連施設の暫定移設を行わないで、Cre-2と同様の施設配置を考えた際にC-3として成立することから、本日説明会を行っている。

市長室の前に庭園というのは誤認である。屋上は有効活用したいと考えているが、過剰に市長室を豪華にしたり、市長室用の庭園を設けたりするという考えは毛頭ない。

【市民B】 C-3や付帯決議は、市民の意見を聞かずに市議会に勝手に決められているように感じる。市民は、Cre-2に優位性があると思っていた。市議会は、市民を放置している。

— 以上で、閉会 —

新庁舎・(仮称) 新福社会館建設に係る市民説明会における
意見シート

平成30年11月10日 桜町上水会館

- | |
|--|
| <p>○ 建設地の近隣に住んでおりますので、工事期間中の安全面、通行等にはご配慮をお願いします。</p> |
| <p>○ ご丁寧な説明だったと思います。早期建設を望みます。</p> |
| <p>○ 市民への広報、工夫が欲しいです。市報の全面的改訂、もっと分かりやすいものを検討願いたい。</p> |
| <p>○ 忙しいとは思いますが、こまめに情報発信してほしい。</p> |
| <p>○ 議会との協調に配慮すべきか、あまり意見を聞くとコンセプトが分かりにくくなるのでは。建てたらこんなはずではなかったという思いにならないようにしたいものです。</p> |

新庁舎・(仮称)新福祉会館建設に係る市民説明会(第4回)	日時	平成30年11月10日(土) 19:00~21:10	場所	第一小学校 体育館
説明者	西岡市長、天野企画財政部長、中谷福祉保健部長、高橋庁舎建設等担当課長、今井公共施設マネジメント推進担当課長、前島福祉会館等担当課長			
事務局	企画政策課 渡辺主査、岡崎主任、小林主任 地域福祉課 山口主査 (受託者)株式会社大建設 北原氏			
参加者数	36人(うち市議会議員4人)			
次第	1 開会 2 新庁舎建設基本計画について 3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について 4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について 5 建設計画(施設配置)について 6 「これまで」と「これから」について 7 質疑応答 8 閉会			
(進行:渡辺主査)				
1 開会 西岡市長による開会挨拶を行った後、説明員の紹介を行った。				
2 新庁舎建設基本計画について				
3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について				
4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について				
5 建設計画(施設配置)について				
6 「これまで」と「これから」について 高橋庁舎建設等担当課長が2、5について、前島福祉会館等担当課長が3、4について説明を行った後、西岡市長が6について説明を行った。				
7 質疑応答				
【市民A】 P44の建設コストの表中単位は「(千円)」ではないか。 → ご指摘のとおりである。申し訳ない、以降修正する。				
【市民B】 C-3で(仮称)新福祉会館を耐震にし、新庁舎は免震となっているが、分ける意味が理解できない。 → 市議会からP48にある4項目提案を受け、Cre-2に条件を加えて追加調査を行った。その結果、成立する見通しとなった。市長としての考えは、新庁舎は今後の防災拠点となり、(仮称)新福祉会館は災害ボランティア活動の本部となり、災害時医療の拠点となることを考慮すると両施設とも免震が望ましいと考えているが、両施設の上部構造等によるところがあり、基本設計段階で決めていくこととなる。				
【市民B】 コスト比較上、耐震と免震に分けた理由が理解できない。コストだけ見るとC-3が良く見える資料の作りとなっているが、両施設とも免震にすることや清掃関連施設の解体等を考慮するとコストは4千万円程度の差しかないと考える。正確な資料で比較いただきたい。現在の比較表は、あくまで1つの試算であると認識している。また、(仮称)新福祉会館も免震にしてほしい。 → 意見として承る。				
【市民C】 清掃関連施設の暫定移設は不要と考えており、暫定移設に1億6千万円を使わないことで方針は良くなったと思う。福祉会館機能を早期回復することは、このエリアに住むものにとって切実な希望であった。当初より遅れてはいるものの、8か月早く回復することは良いと思う。このエリアでは、解散を余儀なくされた団体もあり、福祉会館機能の早期回復を是非お願いしたい。また、現在の広場は保育園の子どもたちが多く遊んでおり、災害時の利用も考えると、広場・緑地を広くとっていただきたい。C-3の広場面積に比べB-2、C-2の広場面積は倍くらいある点で、優位性があると思う。事業費を考えるとC-2が最も安く、1㎡当たりの事業費を考えるとB-2、C-2が最も有力だと考える。免震・耐震については、このエリアの地盤は良好であり、耐震でも良いと思う。総合すると、B-2、C-2で考えていただきたい。 → 意見として承る。				
【市民D】 現状、Cre-2又はC-3のいずれかで進めていきたいという理解でよいか。C-3の清掃関連施設の				

暫定移設を行わないという点は、コスト面では理解できるが、清掃関連施設の再整備計画に関して、二枚橋焼却場跡地では地元の反対があると聞いている。平成36年度に行う中間処理場の再整備について、地元の確認はどうなっているか。

→ 施設配置を確定するのではなく、お示ししている今後の整備方針を持って基本設計に入りたいと考えている。清掃関連施設について、現在の中間処理場は老朽化が深刻であり、しっかりとした整備が必要である。庁舎建設予定地の暫定施設の課題等を総合的に判断し、二枚橋焼却場跡地周辺、貫井北町周辺、全体の統括という3つの会議体を作り、清掃関連施設整備基本計画を策定した。地元の方々を含め市民の方々との協議は今後も丁寧に進めてまいりたい。

【市民E】 C-3は複合施設と考えてよいか。(仮称)新福祉会館が先行竣工した場合、新庁舎とどこかでくっついているのか。

→ 複合施設として整備する方針である。(仮称)新福祉会館を利用する方は、市役所で展開する様々な申請やサービスを併せて利用するケースがあり、利用動線、施設配置、レイアウトが最も良い方法が望ましく、今後の基本設計段階において更に検討してまいりたい。

【市民E】 (仮称)新福祉会館と新庁舎を別々に建てる場合の連なりはどうか。複合化ということはくっついていると考えていいか。別々に建てる場合、どの程度離れているのか。免震と耐震で分かれることの意味が分からない。

→ 複合の在り方、耐震システムについては、今後の基本設計段階で決まってくる。

公共施設マネジメントの目線で言うと、福祉会館、保健センター、庁舎を一体の建物として整備していこうとしている。コスト面からも極力コンパクトな施設で幅広いサービスを提供しようと考えている。こうしたことは、複数の建物をくっつける考えではなく、基本設計段階でしっかり整理してまいりたい。安全性を考慮し、工事の施工空間をしっかりと確保していくため、このくらい離れているから大丈夫だということではない。病院等においては、免震構造と耐震構造を組み合わせる例は多々ある。利用用途を含めて基本設計段階で検討してまいりたい。

【市民F】 説明会は、施設配置パターンを提示して意見を聴取し、資料に示してある今後の整備方針に沿って進めていくということによいか。また、道路が北側、西側にあると思うが、西側しか利用していないのはなぜか。

→ これまで複数の施設配置案を検討しお示してきたが、何を重点に事業を進めていくかという中で、施設配置や工事の進め方が変わることが分かってきたので、お示ししている今後の整備方針のとおり考え方を整理し基本設計に入っていくということをご理解いただきたいというのが一つの趣旨である。道路の利用について、北側はJR所有の土地のため、自由に利用することはできない。利用については、JRと協議してまいりたい。また、南東角地の道路を寄附いただいております。複数経路の確保について検討をしていく。

【市民G】 それぞれ単体で建設し、(仮称)新福祉会館を南側に配置する案を希望する。(仮称)新福祉会館は利用者の特性を考えると道路から近い方が良く、駐輪場からの距離も近い方が良い。また、北側は広場として残しやすいのではないかと思います。

→ 意見として承る。

【市民H】 基本設計で柔軟に検討したいということだが、どこかの段階で決めないと進まない。平成31年度末までに方向性を固めるという理解でよいか。

→ 基本設計を進める中で最終的な方針を決めてまいりたい。

【市民I】 旧福祉会館は既に取り壊されているが、建て替えの補助金はあるか。

→ 現段階では、補助金は探しきれておらず、市の財源で建てることとなる。

【市民J】 両施設とも南側に面しているとよく、当初の4つの配置案ももっと検討してほしい。

→ P63に示している今後の整備方針では、C-2やC-3が選択肢となる。南向きの要望について、南側に横並びで配置をすると北側の広場に日が当たらないというデメリットがある。(仮称)新福祉会館には保健センターが入る等、1フロアの床面積を広く必要とする機能がある。一方で、C-2だと(仮称)新福祉会館は6階建てとなり、1フロアの床面積を広くとることができない。それぞれメリット・デメリットがあり、内外のデザイン、レイアウトを含め基本設計段階で整理していく。

【市民K (第1回市民A・第3回市民Dと同一人物)】 片方免震、片方耐震は避けるべき。駐輪場からの距離の話があったが、駐輪場に屋根を付けなければどうせ濡れるのだから、気にする必要はないと思う。

→ 市民が利用しやすいようにすることが第一である。免震・耐震については、基本設計段階で決めていく。

【市民L (第1回市民Dと同一人物)】 清掃関連施設の暫定施設は行わないことについて、清掃関連施設が計画どおり移設できない場合を懸念している。清掃関連施設の暫定施設を行わないことの大きなデメリットと考える。(仮称)新福祉会館の機能を決める際、「交通手段の「自動車」が欠かせない。一定のオープンスペースの確保」が一つの条件となっており、清掃関連施設が計画どおり移設できない状態が続くと条件が満たされないこととなる。(仮称)新福祉会館先行竣工の声は届いて

いるとのことだが、C-3において、新庁舎が5か月遅れてしまうデメリットの比較衡量をしっかりとしてほしい。本庁舎は耐震性に問題がある一方、(仮称)新福祉会館に入る機能は現在の暫定施設で耐震性に問題がないため、新庁舎竣工の方が遅らせられないのではないかと。また、C-3で(仮称)新福祉会館を免震にした場合、工期はどうか。

→ 清掃関連施設の再整備は計画どおり進めていかなければならないと考えている。

C-3で(仮称)新福祉会館を免震にした場合の工期は持ち合わせていない。施設配置を検討する上では、何に重点を置くかが大切であり、設計に入らないうちで、お示ししている今後の整備方針をもって臨んでまいりたい。

(仮称)新福祉会館は従前の計画よりも既に遅れているが、長い目で見れば新庁舎と同じ施設にすることが市にとって必要な判断と考える。(仮称)新福祉会館の機能を早期回復させることが必要と考えている。

【市民M】 建設コスト比較の中で、基本設計費、実施設計費、工事監理費、欄外の外構工事費について詳細を知りたい。また、新庁舎は基本計画より5年遅れており、第二庁舎の賃料の関係からも早期に建てるべきと考える。

→ 基本設計費、実施設計費、工事監理費は一定の単価に面積をかけて算出している。B-2はそれぞれ単体のため、それぞれで計算しており、その他は複合した面積での単価で計算をしており、比べれば割安となる。外構工事費は、Cre-2は清掃関連施設を暫定移設しているため面積が小さいため安く、新庁舎、(仮称)新福祉会館竣工後の工事エリアが広くなり外構工事費も高くなる。

【市民A】 調査業務を追加実施しているが、整備方針をもとに追加で実施するものなのか。金額はどうか。

→ 現在、調査中の追加調査の結果C-3が成立する見込みとなったところである。費用は約70万円である。

【市民N】 小規模保育を行っているものであるが、現在の庁舎建設予定地の広場は何㎡なのか。駅周辺の認可保育園は園庭を持っておらず、庁舎予定地では1日150人程の乳児が原っぱで遊んでいる。新庁舎建設後の広場でそれが満たされるのか。遊具のない原っぱの広場を希望する。

→ 現在、乳児が遊んでいるエリアの面積算定は、正確な数字は持ち合わせていない。今後は、広場は多用途に多くの市民が利用できるように考えている。

【市民B】 本庁舎跡地はどうか。敷地の自由度をある程度確保しておくということや将来的にどういう公共施設配置とすると関係してくると思う。長期的な公共施設再配置をしていく上で、庁舎建設予定地は、新庁舎と(仮称)新福祉会館で終わりなのか、こうした考え方をもちたい。第二庁舎の契約期間はどうか。

→ 本事業は、公共施設の大幅な集約化になると考えている。そのことによる利便性の向上を目指すとともに、公共施設等総合管理計画の基本的な考え方にそって集約化し、そのことにより生み出される跡地の利用について検討する必要がある。他の公共施設の老朽化対策等にも関わってくる。跡地利用は、総量抑制という観点もあり総合的に判断することとなるが、有効活用していきたい考えであり、有効活用の在り方は今後検討してまいりたい。庁舎建設予定地の残地の活用は、現在、具体的な考えを持っていない。まずは、新庁舎・(仮称)新福祉会館をしっかりと建設し、当面は、広場・緑地として活用する。しかし、将来に可能性として残すことは大事である。第二庁舎の契約は、現在、所有者と新たな契約更新に向けた交渉協議中である。

【市民E】 公民館がなくなり市民団体等が困っている。(仮称)新福祉会館の機能として多目的室、マルチスペースといったものは、どんな使い方を予定か。

→ 基本計画の段階であり、大きくくりで学習室や集会室を想定し多目的室としており、マルチスペースは、1階ロビー等を想定している。具体的な部屋数や形は基本設計段階で意見を伺いながら決めていく。

【市民E】 福祉会館の担当を始め市としての考えや願いがあってもいいのではないかと。

→ 意見として承る。

【市民O】 新庁舎、(仮称)新福祉会館を南側へ配置し広場を広くつくってほしい。床面積について、現在の面積が12,000㎡なのか。

→ 現在、本庁舎は約2,800㎡で第二庁舎は約6,000㎡であり、その他対象施設を含めると10,300㎡、会議室利用の前原暫定庁舎を含めれば10,800㎡程度であるが、現庁舎にも課題があり、面積は執務環境調査を経て算出したものになる。

【市民O】 事務スペースや共用廊下の面積はどうか。職員数を見込んだ数値があったのではないかと。

→ 細かい数値は持ち合わせていないが、共用の部分等を考慮し12,665㎡と算出している。

基本計画では、旧総務省起債対象事業費基準を準用し、職員数等で算出しているが、当時の職員数では、13,757.5㎡と算出している。今回、執務環境調査を実施しており、当該調査の結果算出した12,665㎡を実現するに当たっても、今の文書量を7割削減していく等の努力をした上で成立する面積となる。面積をいわずらに増やすのではなく、利便性を考慮し、かつコンパクトに算出したものである。

【市民D】 清掃関連施設を暫定移設し、新庁舎、(仮称)新福社会館を北側に並べてはどうか。

→ JRの高架橋は建築物に当たり、日影等の制限が生じる。また、西側も道路があり、制限が生じることから、施設配置は南東側に寄っている傾向がある。敷地が東西に長いのでこうした規制を受けることとなる。

— 以上で、閉会 —

新庁舎・(仮称) 新福祉会館建設に係る市民説明会における
意見シート

平成30年11月10日 第一小学校

<p>○ 初めて説明会に参加しましたがとても丁寧に質疑に答えていただきうれしかったです。検討段階についても細かく示していただき参考になりました。</p> <p>○ 質問でも言いましたが、できるだけ出入口の多い計画を立てていただけると助かります(車も人も)。</p>
<p>○ 本日は丁寧な説明ありがとうございました。周辺住民への説明、意見交換の場をたくさん設けていただきたく、お願いします。また、説明会ももう少し広くインフォメーションをお願いします。</p> <p>○ 次回、交通(車(道が混む))、人の導線(エアーズ通り抜け)の説明をお願いします。</p>
<p>○ 広場を含む敷地は将来の施設建設(図書館など)も可能性が持てるように自由度の高いものにしてほしい。目先のことだけでなく、将来の公共施設のことも頭に入れておかないと、都市部でまとまった用地確保は難しい。</p> <p>○ 庁舎と福祉会館の1階はできれば共有するという自由度が高い方がいいと思う。その点ではC r e - 2を基本としながら、C - 3の要素を加えた2階以上は別々でもいいのではないか。</p>
<p>○ 以前より一小周辺には、子どもがボールで遊びをはじめ自由にのびのびと遊べる場所がなく、学校以外にはこの暫定広場が唯一の遊び場で、とても貴重な子どもの居場所です。今後新庁舎・福祉会館が建設されると、子どもの居場所がなくなります。是非、これに替わる子どもの居場所を作っていただきたいとお願いいたします。</p>
<p>○ 公民館本館を建設計画に入れること。市民参加の拠点として、旧福祉会館に公民館本館が本町分館に仮移転のまま前原町、中町の住民は、サークル活動に不便を増し、サークル団体を解消しているのが現状である。</p> <p>新庁舎に、公民館本部機能を入れてほしいし、学習室のほかにレクリエーション室などの機能設備を要望します。</p> <p>○ 現在の学校の空き部屋があれば平日利用を市民に活用させるようにしてください。</p> <p>○ 平成34年度秋頃に施工されるかを疑問を持つ市民が多く、早め早めに広報していくようにお願いします。</p>
<p>○ 周辺住民、特にエアーズシティとトミンハイムの居住者のプライバシーへの配慮が必要。各マンションの理事会との打合せは是非行ってほしい。</p> <p>○ エアーズシティが通り道化する懸念大</p>

<p>①市としての通り抜けを禁止するお知らせ</p> <p>②交通信号の設置又は移設が必要（①の観点からも）</p> <p>○ 中央図書館は多摩地区の他市と比べてもあまりにもみすぼらしく恥ずかしい。早急に新中央図書館の設置が望ましい。ちなみに、当市での最新である「貫井北」を中央図書館とするのも一案と考える。そのうえで、現中央図書館を分館等として建て直すのがベターと考える。</p>
<p>○ だいぶいろいろなことが分かってきました。丁寧な説明で良かったと思います。子どもたちのために、高齢者のために広場を残してほしいと思います。</p>
<p>○ もう少し配布資料まとめをしていただきたいです。</p> <p>○ もう少し市民のニーズに合った説明会にしてほしい。</p> <p>○ 対比とか資料・データをまとめ、提示してほしい。でないと、先に進めません。堂々巡りです。</p> <p>○ 福祉会館、公民館待たせているのだから、会議室、グループで使用する部屋をたくさん用意してほしいと思います。</p>
<p>○ 新庁舎、新福祉会館の早期建設を強く要望します。1年遅れて2億のリース代が掛かります。</p> <p>○ 設計内容に意見いろいろあると思いますが、早く建設することが第一です。</p>
<p>○ C-3で福祉会館を免震にした場合、もっと工期が延びてしまうのではないか。そうすると先行竣工のメリットが小さくなってしまい、メリット・デメリットの意味が変わってしまうのでは。</p> <p>○ 庁舎竣工が遅くなると、コストだけではなく、防災上の観点が心配。5か月の間に大震災が来たら後悔しませんか。</p> <p>○ 8か月早くということでもあまり大きなメリットに思えないが、この辺りも考えると、Cre-2の方が優れていると思います。</p> <p>○ Cre-2案で地下駐車場をつくり、広場を増やすこともできるのでは。</p>

新庁舎・(仮称)新福祉会館建設に係る市民説明会(第5回)	日時	平成30年11月13日(火) 18:00~19:50	場所	公民館東分館 集会室AB
説明者	西岡市長、天野企画財政部長、中谷福祉保健部長、高橋庁舎建設等担当課長、今井公共施設マネジメント推進担当課長、前島福祉会館等担当課長			
事務局	企画政策課 渡辺主査、岡崎主任、小林主任 地域福祉課 山口主査 (受託者)株式会社大建設 北原氏			
参加者数	25人(うち市議会議員6人)			
次第	1 開会 2 新庁舎建設基本計画について 3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について 4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について 5 建設計画(施設配置)について 6 「これまで」と「これから」について 7 質疑応答 8 閉会			
(進行:渡辺主査)				
1 開会 西岡市長による開会挨拶を行った後、説明員の紹介を行った。				
2 新庁舎建設基本計画について				
3 (仮称)新福祉会館建設基本計画について				
4 新庁舎と(仮称)新福祉会館の整備手法について				
5 建設計画(施設配置)について				
6 「これまで」と「これから」について 高橋庁舎建設等担当課長が2、5について、前島福祉会館等担当課長が3、4について説明を行った後、西岡市長が6について説明を行った。				
7 質疑応答				
【市民A】 当初の福祉会館の基本計画では公民館の話があったが、公民館がなくなった。 → 公民館については、市民検討委員会、説明会、パブリックコメント等を通じて検討してきたが、計画上は、公民館という形ではなく、市民の活動場所として利用できることを想定し、多目的室、マルチスペースといったものを計画している。面積は、旧福祉会館にあった公民館の学習室や集会室、1階ロビーを併せた面積以上を確保しようと考えて計画している。公民館の活動についても、ご利用いただけるように確保していく。(仮称)新福祉会館には公民館は入らず、活動の場としてこういったものを確保していく方向で公民館の所管である教育委員会と共有している。				
【市民B】 施設配置は、賛否両論と聞いている。基本構想では新庁舎は単体で建設することとしていた。その後紆余曲折あり、変更となっているのは仕方ないことである。現在、配置案で、優位性を○△で記載してあるが、一般市民にとっては分かりにくいと思う。基本構想では、新庁舎建設の候補地の優位性をポイント制で検討してきた。施設配置の優位性においても、ポイント制にして比較検討をすることはできないのか。 → 今回は、それぞれの施設配置の中からどれにするかを伺う趣旨ではない。施設配置を検討する中で、清掃関連施設を暫定移設した配置が良いとしていたが、その後の経緯があり、清掃関連施設を暫定移設しなくてもできるのではないかと検討した。それらを図だけでなく、評価項目とポイントを示しているが、これらを踏まえ、清掃関連施設を暫定移設せず計画していきたいというものを示している。				
【市民C】 新庁舎と(仮称)新福祉会館を一体にすると効果的とのことだが、内容が異なるもので別々にしたほうが良いと思う。新庁舎と(仮称)新福祉会館を一つの通路でつなぐと管理上に問題が出てくると思う。合体することで安くなることは理解できない。 以前、本町暫定庁舎用地に福祉会館を建てると市議会全体で合意されていたと聞いている。市長当選後、公約と異なることから変更したとのことだが、この間、新庁舎問題はゴタゴタやっていた。本町暫定庁舎用地に福祉会館を建てれば、財政的に無駄になることなくよかったと思う。 新庁舎建設について、今日の説明会は、ただ読んだだけで説明とは言えない。みんなに分かるように説明していくということにはならないのではないか。				

→ 新庁舎と（仮称）新福祉会館の建設に関しては、さまざまな議論を積み重ね、建設に向け進めてきた。現在は、基本設計に入るため市議会との合意形成や市民の理解をいただくべく市民説明会を開催することとした。

新福祉会館の場所について、ゼロベースで見直し、庁内で検討し、庁内での方針を決め、市民検討委員会での議論の上、庁舎建設予定地が望ましいとして意思決定をしてきた。福祉会館の利用者の相談機能、市役所での申請手続きの受付窓口との距離を考慮すると、近接することで利便性が高まると考えられる。また、福祉会館の利用者は福祉車両等の車を利用することが多く、一定のオープンスペースがとれることが望ましく、（仮称）新福祉会館の中には社会福祉協議会があり、災害ボランティア拠点、また医療救護活動拠点にもなるので、災害対策本部との緊密な連携が取れるところが望ましい。市の中央で庁舎と連携がとれ、車でアクセスもよく、自転車や公共交通機関を利用することも想定できることから庁舎建設予定地に一体として整備していく判断をした。

新庁舎も（仮称）新福祉会館も最近のさまざまな建築手法等から最善なものを選択していくことになるが、そういった技術も活用しながら、長く使っていただくことになる。長期的な視点で考えたときに、新庁舎と（仮称）新福祉会館が同じ場所にあった方が働く人にとっても利用する人にとっても利便性が高いと判断し、この方針とした。

【市民D】 （仮称）新福祉会館と新庁舎を同一敷地に建てる時、（仮称）新福祉会館が後ろにあることに違和感がある。防災の拠点として、社会福祉協議会が災害ボランティアの受付等を行うとなれば、（仮称）新福祉会館を敷地の前に持ってくるべきだと考える。

清掃関連施設の暫定移設を行わないとの方針であるが、清掃関連施設が残ると建築計画に制約がある。

（仮称）新福祉会館を道路側に持っていく、（仮称）新福祉会館の1階に清掃関連施設を暫定移設し、福祉会館と清掃関連施設を同時に稼働させたいと、清掃関連施設が敷地外に移設したときに、前面の広場と一体的に災害の拠点とすること等用途的に転用できると考えている。こうした検討はしているのか。

また、新庁舎と（仮称）新福祉会館の配置順は決まっているのか。

→ 建設計画調査では関係法令上の条件整理を行ったところであり、（仮称）新福祉会館の位置や新庁舎の位置は固定的なものという考えはない。基本構想、基本計画等で整備に対する基本的な方針を持っており、これらを設計者に理解いただき、意匠として表現していただきたいと考えている。

ご提案の清掃関連施設については、整備基本計画がある中で、計画的に動かしていくということが方針であるので、（仮称）新福祉会館との転用については考えていない。

【市民E】 人口動態が変わる中で、長く利用できる新庁舎を建設してほしいと思うが、利用者の利用内容に応じて、空間の広さを再設計する等、空間をどう見直すのか、また、中身の検討はどう進めていくのか。

→ 人口動態や施策展開に変更あった場合、組織改正が伴ってくる。その度に壁や床を動かすのではなく、スケルトンインフィルやユニバーサルデザインレイアウトを採用しながら組織を柔軟に対応できるような方法は執務環境調査において検討しており、設計の中で反映してまいりたい。また、市民の活用スペースについてもスケルトン工法等で次の用途に転用できるような手法を活かしながらなるべく柱の少ない建物にできるかも検討してまいりたい。

将来的に、社会情勢に応じて適切に施設配置等は見直していくことがあると考える。まずは、効果的なレイアウトを基本設計で考えてまいりたい。

【市民F】 スケジュールを見ると平成30年度から平成31年度にかけて基本設計を行うことになっている。事業を進めてほしい気持ちがあるが、ハード面も動かせるのであれば、市民の意見を含む余地があるのか。市民説明会を開催し、市民の声を反映することはありがたいが、スケジュールが心配になる。

（仮称）新福祉会館の機能は多機能であるとのことで、公民館機能も保証していくとのことだが、教育委員会との摺り合わせはなされているのか。

→ お示ししている今後の整備方針をベースに基本設計に入りたいと考えている。その中でも、既存清掃関連施設の暫定移設は行わないこと、（仮称）新福祉会館機能を早期に回復させることを優先することが重要な柱となる。これまでの建設計画調査によって総合的にみると Cre-2 に優位性があるという判断をしてきた。こういったものを踏まえ、基本設計に入る中で引き続き市民参加を行いながら、基本設計者の技術、経験、よりよい施設配置を作り上げてまいりたい。また、基本設計期間は十分に必要であり、お示ししているスケジュールで進めてまいりたい。施設の竣工はさまざまなコストと連携しており、この条件では（仮称）新福祉会館は先行竣工とし、新庁舎は5ヶ月延伸となるが、優先すべき課題ということで（仮称）新福祉会館機能を早期に回復していくことをベースに基本設計に入りたいと考えている。

公民館は、大事な活動場所であったと認識しており、市民の自立した活動にも使っていただき

たいと考えている。公民館本館で行ってきた事業は多々あるかと思うが、(仮称)新福社会館の中で行うことを想定しながら計画を立ててきた。こうしたことを踏まえ教育委員会と話をしている。

【市民D】 配置はよく練ったほうがいい。建築計画的に敷地の制約が厳しく、容積率いっぱい建てるのが難しい敷地である。今後の土地利用に大きく影響が出てしまうので、配置と土地利用についてお金と時間をかけて検討してほしい。

→ 敷地利用の幅を拓けようとする考えは持っている。JRとの高架下利用の協議を行っており、南東の道路を市道として寄附いただいております、回遊性を見込める土地の使い方が話としてまとまってきている。ご意見にあるよう敷地を最大限活用していくというスタンスを持って設計に入りたいと思う。

【市民G】 免震と耐震の違いはなにか。

→ 耐震システムの中で、建物の揺れの抑え方が異なる。免震構造だと、建物の揺れを地面の揺れと同調させて揺れを抑えることで家具の転倒や揺れを抑えることができる効果があると言われている。耐震だと、文字通り揺れに耐える建物となる。他に制震構造があるが、建物の間に筋交いを入れ、揺れを制御するシステムとなる。どれを選ぶかで工期、金額が変わってくる。今後、基本設計を進めていく中で、建物の性質を考慮し、構造計算を行い、最も適切な費用対効果を見ながら耐震システムを選んでまいりたい。

【市民C】 複合施設として整備することでスケールメリットを追求と記載している一方で(仮称)新福社会館機能を早期に回復させることを優先と記載している意味が分からない。

→ (仮称)新福社会館そのものを先にオープンさせるということよりも早期回復が必要な機能を先に開け、そこに市役所の機能があり利便性が上がるのであれば、その機能を先に整備していくという考え方もある。設計者の知見を得ながら検討していきたい。

【市民C】 (仮称)新福社会館の利用者が市役所を同時に利用することはほとんどない。(仮称)新福社会館と新庁舎をそれぞれ単体で建設するのか。

→ 一体のものとして作っていききたい。その上で、先にオープンさせなければいけないものを精査していきたい。

【市民A】 B-2、C-2がいいと思っているが、横長でなくCre-2とC-3のような配置のメリットは。

→ C-2は建物の奥行きが小さく、(仮称)新福社会館はフロア面積がとれず、6階建てとなる。また、冬場など北側の広場等に日が当たらないことになる。これらはデメリットであると考えている。配置については様々一長一短あり、今後の整備方針等を設計者に渡し、合理的で利便性の高い設計を行っていく。

【市民B】 説明会で出た意見・要望を実際に反映されるのか。これまで市の説明会では形だけの説明会であることがあった。

→ 5回開催し、いずれの会場も活発な提言、要望、意見をいただいた。お示ししている今後の整備方針をベースに基本設計に入り、基本設計に入った後、基本設計者の提案や市議会、市民からの意見を設計の中でどのように反映できるか今後重要な局面に入っていく。また、設計に入らなければ、新庁舎と(仮称)新福社会館の建設は遠のいてしまうことになる。長年の課題である新庁舎・(仮称)新福社会館の建設は実現しなくてはいけない課題である。市民の声について、基本計画でも相当な議論を重ね、市民参加を経て策定してきた。途中、1万人アンケートを行い、庁舎建設予定地を決めており、市民の意見と受け止めている。(仮称)新福社会館の基本計画においても、市民検討委員会やパブリックコメント等で議論いただいたと認識している。こうして進めてきた事業の具現化に向けた段階に入っていくところであるので、精一杯努力してまいりたい。

【市民C】 この説明会とは直接関係ないが、東センターのパーテーションが壊れている。高額とのことだが、安い方法を検討する等、早く直してほしい。

→ 検討してまいりたい。今しばらくお時間をいただきたい。

— 以上で、閉会 —

新庁舎・(仮称) 新福祉会館建設に係る市民説明会における
意見シート

平成30年11月13日 公民館東分館

- 長年の小金井の課題である庁舎建設を実現させてほしい。
- 想定外の自然災害が起こる現代、発想を豊かにし、多様性のある建物をつくってほしい。
- 小金井の素晴らしい公民館活動が発展できるよう福祉会館に生かしてほしい

○ 柔軟な空間利用が将来的に可能になるような建物としていただきたいと思います。末永く市民が利用する庁舎となるためには、市民の多くが利用しやすい場所となることに尽きると思うからです。耐震・免震の面や建築手法や基準法上の制約はあると考えますが、そのことを切に要望いたします。そのためには、一定の年度ごとの利用動態の確認や検証をお願いします。いずれにしても庁舎の完成を楽しみに期待しております。

○ 今回の基本計画の中では排除されているように思える公民館（中央 or 本館）の建築を是非重視して取り組んでほしいと思います。現状では公民館（中央）の機能が実現してないし、新福祉会館に多目的会議室ができてその機能が発揮され難いと思います。

- 分からない市民に顔と顔を見せ言葉（文章を読むのでなく）で説明してほしい。非常に分かりにくい説明会でした。
- 利点をはなしてもらいたい。
- 市民参加の設計などを考えてもらいたい（市議会向けでなく）
- 福祉会館と市庁舎は別にすべきだと思う。
- 説明会はもっと早い時期に市民の要望を聞く方が良いと思う。

説明会にて行政の一定の考え方、それに対する議会の対応などが分かりましたが、危惧されることもあり意見を申し上げます。

○ 「既存清掃関連施設の暫定移設は行わない」について

現状の各計画案において暫定移設を行わなくとも庁舎、福祉会館の計画・建設が進められることは、理解できます。しかし、限られた敷地の中でこのことを前提として建築計画を考えた場合とそうではない場合とでは計画できる建物の自由度は、天と地の差があります。

暫定施設を単に暫定施設として新たに建設するのではない手法もありますので、以下にその要領をお示しします。

- 1 「(仮称) 新福祉会館を早期に回復させることを優先する」視点を生かし、まず敷地西側（防災拠点となる広場（防災広場）を十分に考慮した上で）に1フロ

ア 1,500 m²で4層の清掃関連施設と（仮称）新福祉会館を先行整備する。

1階 清掃関連施設（1,500 m²） 2～4階 （仮称）新福祉会館（4,500 m²）

※ 清掃関連施設の必要面積と（仮称）新福祉会館の必要面積を確保する。

2 清掃関連施設の移転と（仮称）新福祉会館をオープンさせる。

3 清掃関連施設の敷地外移転が行われた際には、西側の防災広場と連続させ、防災備蓄倉庫等の防災関連施設に用途転用を行う。

※ （仮称）新福祉会館には災害ボランティアを受け入れる社会福祉協議会を移転させることから機能的にこの建物配置の考え方は、重要な意味を持ちます。

4 庁舎は（仮称）新福祉会館に連続する形で東、並びに一部（敷地東側）は北に伸ばす形で必要面積を確保する。

5 （仮称）新福祉会館と庁舎の間には共用が可能な階段等を計画し、新庁舎の床面積の縮減を目指す。

※ 建築基準法上は一棟として扱える形態として竣工時期のずれは仮使用扱いとする。

○ 建物構造について ～経済性やより高い安全性を追究する視点～

1 鉄骨造とする

- ・ 鉄筋（鉄骨鉄筋）コンクリート造に比べ杭、基礎（下部構）の経済性が高い。
- ・ 上部構造（地上階）も工期の短縮による経済性が高い。
- ・ 耐火被覆を塗装により行うことで構造材が仕上げ材として計画が可能で、内装工事費の削減ができる。
- ・ 鉄筋（鉄骨鉄筋）コンクリート造に比べ大空間が容易に計画できる。

2 免震構造、制震構造の採用は慎重に

大規模地震の際に免震構造や制震構造の被害が小さく有効であることはご存知のとおりですが、鉄骨造耐震構造で建物の揺れを免震や制震を採用せず在来の技術でコントロールする方法はいくらでもあります。

免震や制震技術は、ランニングコストとその効果を同時に検討しなければならないことをよくご理解いただいた上でご採用ください。

3 （仮称）新福祉会館の耐震強度について

市庁舎の耐震基準を現行の1.5倍、（仮称）新福祉会館の耐震基準を1.25倍とお考えのようですが、災害時の拠点機能は庁舎以上に求められるのはこれまでの議論で明らかです。そのためにも（仮称）新福祉会館の耐震基準は1.5倍とするべきです。